わなの設置を依頼する方
（捕獲者の土地の場合は自分）
が記入してください

様式第６号（第７条関係）

鳥　獣　被　害　状　況　書

記入者氏名　世羅　花子　㊞

記入年月日　〇〇年　〇月　〇日

被害場所	世羅町大字〇〇　字〇〇　〇〇〇〇番地 （裏面に区域図を添付）
被害を与える鳥獣の種類及び頭羽数	（オス・メスの別） イノシシ　〇頭　シカ　〇頭
被害の対象	水稲 （作物名、畦、糞公害など）
被害の状態	いつごろから　９月頃 何に　水田 どの様な被害　稲の倒伏・畦の掘り返し
被害の程度	・被害地　畑　・　水田　・　その他（　　） ・面積　　ha　・５ａ ・被害割合　全体の　５　割が被害 ・その他
被害対策及びその結果	ワイヤーメッシュ柵を張るなどの防除をするが効果が無い
備考	（記入者以外の被害者住所・氏名）

注：１　捕獲の許可は、被害防除の実施や追い払い等を行っても、被害が防止できないときに限り、受けることができる。

２　この鳥獣被害状況書は、捕獲許可の審査に必要なため、漏れのないように記入すること。

３　記入者自身が受けた被害だけではなく、記入者の周辺の被害状況も調査のうえ、記入すること。

わなの設置を依頼する方が
記入してください
(捕獲者の土地の場合は提出不要)

様式第５号（第７条関係）

〇〇年〇〇月〇〇日

世羅　太郎　様（被依頼者名）

住　　所	世羅町大字△△
職　　業	農　業
氏　　名	※代表者 世羅　花子　㊞ 電　話　0847-〇〇-〇〇〇〇 ※ほか　　人（別紙名簿のとおり）
生 年 月 日	昭和〇〇年〇月〇〇日

有 害 鳥 獣 捕 獲 依 頼 書

鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律第９条の規定による有害鳥獣捕獲のための鳥獣の捕獲等を、次により依頼します。

被依頼者	住　所	世羅町大字〇〇　〇〇番地
	職　業	農　業
	氏　名	世羅　太郎
	生 年 月 日	昭和〇〇年〇月〇〇日
捕獲等を依頼する鳥獣の種類及び頭羽数		イノシシ　〇頭　　シカ〇頭
依頼する理由		有害鳥獣捕獲
捕獲等の期間		〇〇年〇月〇日から　　〇〇年〇月〇日まで
捕獲等の区域又は場所		世羅町大字〇〇　字①〇〇123 番地　②△△456 番地周辺
被害の状況		別紙鳥獣被害状況書のとおり。
捕獲等をした後の処置		とめさし後埋める

わなを設置する方の
住所・氏名等

個人申請の許可期間は
最長６ヶ月です（猟期を除く）

わなを設置する方が
記入してください

様式第１号（第７条関係）

世　羅　町　長　　様

〇〇年〇〇月〇〇日

住　　所	〒〇〇〇-〇〇〇〇 世羅町大字〇〇　〇〇番地 電話番号　0847-〇〇-〇〇〇〇
職　　業	農　業
氏　　名	世羅　太郎　　㊞
生 年 月 日	昭和〇〇年　〇月　〇〇日生

鳥 獣 の 捕 獲 等 許 可 申 請 書

~~鳥獣の卵の採取等許可申請書~~

捕獲する獣種、頭数を書いてください。
記入以外の動物がわなに入った場合は
放獣してください。

鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律第９条第１項及び鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律施行規則第７条第１項の規定により、鳥獣の捕獲等の許可・鳥獣の卵の採取等の許可を受けたいので、次のとおり申請します。

捕獲等をしようとする鳥獣又は採取等をしようとする鳥獣の卵の種類及び数量	イノシシ〇頭　シカ〇頭
捕 獲 等 又 は 採 取 等 の 目 的	有害鳥獣捕獲
捕 獲 等 又 は 採 取 等 の 期 間	R〇〇年　〇月　〇日から　R〇〇年　〇月　〇日まで （許可の日から　　日間）
捕 獲 等 又 は 採 取 等 の 区 域	世羅町大字〇〇　字 ①〇〇123 番地　周辺 ②△△456 番地　周辺
捕 獲 等 又 は 採 取 等 の 方 法	箱わな　、　くくりわな
学術研究を目的とした場合にあっては、研究の事項及び方法	－
愛がん飼養の場合、現に飼養している鳥獣の種類及び数量等	－
捕 獲 等 又 は 採 取 等 を し た 後 の 処 置	とめさし後埋める
鳥獣保護区等において鳥獣の捕獲等又は採取等をしようとする場合にあっては、その場所の位置、名称及び理由	－
銃器を使用する場合は、鉄砲所持許可証の番号及び交付年月日	－
備　　考	－

許可期間は６ヶ月です（猟期を除く）
例：猟期をのぞく期間捕獲を行う場合は
4/1～9/30、10/1～10/31、3/1～3/31
の３回の申請が必要

注１　共同申請による場合は、※印に代表者が記入し、別記名簿を添付すること。
２　共同申請による捕獲数等の数量は、原則として各人別に記入すること。
３　町有害鳥獣捕獲斑を編成する場合は、別記名簿を添付すること。
４　区域欄には、できる限り字名及び地番まで記入し、捕獲等の場所を明らかにした縮尺５万分の１以上の地形図を添付すること。
５　町長又は対象法人からの申請の場合は、種類及び数量、区域及び方法については、別紙「有害鳥獣捕獲実施計画書」に取りまとめて記入してもよい。
６　方法欄には、使用する捕獲用具の名称を記入し、その構造、設置方法等を示す図面を添付すること。
７　処置欄には、捕獲個体の捕獲後の処置方法について、殺処分等について記入すること。
８　鳥獣保護区等の位置、名称及び理由欄には、鳥獣保護区、休猟区、公道、自然公園法第 14 条第１項の特別保護地区、都市計画法第４条第６項の都市計画施設である公共空地その他公衆慰楽の目的で設けた園地であって、囲い又は標識によりその区域を明示したもの、自然環境保全法第 14 条第１項の厚生自然環境保全地域、社寺境内、墓地、銃猟禁止区域、銃猟制限区域又は猟区内において捕獲等又は採取等をしようとする場合にあっては、その旨を記載すること。

わなを設置する方が
記入してください

申請した区域 及び わな設置地 を示した地図を添付してください